

磐城毎日

社長 大和田兵衛
発行所 福島縣 平市
15丁目12番地
株式印刷 遠藤 孝倫
社務印刷 遠藤 孝倫
電話(平) 二一〇番
定価 1ヶ月 50円 1部2円
【夕刊・月曜 休刊】

投稿 歡迎

濱三郡の町村長會

濱通りの發展策を決議

濱三郡の町村長會は三日平の様に改選後の町村長に引
市石城地方事務所において繼續することを決定した、更に
午前十時より開催、産業大、常磐線、仙台間の復線化
學の設置、縣に工場誘致期、實現、濱通りに福島放送局
成同盟會設置、縣知事、副中繼所を設置する事に努力
知事の濱三郡を對する熱意、中繼所を設置する事に努力
を高める、の三項を實現す

諸橋氏市長に立候補

縣議は馬目、佐藤の兩氏

鈴木三郎前市長は昨報の補選を提出した、平市部縣
如く病狀に何等氣遣う餘地 諸橋候補も豫想通り現職諸馬
がないので再び出馬する事、目武之助氏と前市議佐藤源
に決定し四日立候補届を呈 吉氏が四日立候補届を提出
出したが、出馬を豫想されて、市議長は鈴木、諸橋の兩氏
いた諸橋久太郎氏も四日午 縣議は馬目、佐藤の兩氏の
後關内代議士の推薦で立候補一騎打ちとなった

平市議候補の出馬

五日正午まで四八名

平市議員候補の届出につい
ては既報の通りであるが四
日午後三時過ぎから五日正
午までの届出者は十二名で
前の三十六名を加え四十八
名となった届出者氏名左の
通りである
△須藤藤之助(田町)渡邊啓
(上平巻)

郡部の縣議候補

木田、庄司兩氏出馬す

縣議の立候補の届出につい
ては既報の通りであるが四
日午後三時以降二名が届出
で計十六名となった、二名
治二〇年七月二十六日生

平驛跨線橋愈々實現

七日臨時市議會を開く

鈴木前市長、高木法務事務 日後九時頃風呂へ行くと
次官を初め市當局の猛衝動 稱して家を出たまゝ、行方不
明、現金約百圓程しか持参 せし原因については不明で
ある

小供の自轉車

トラクに飛ばさる

市内材木町三十一番地清昭
(二)君は四日午後六時頃
在不明のトラクに小供用
自轉車を乗りまわして
最中はねとばされた、自
車が大破した、トラクは
なかつた、トラクは何處
へともなく逃走

正月町の火事

四月午後七時五分頃市内

四月午後七時五分頃市内
正月町六左官職高野龜次郎
三(三)さん方から出火、同家
を半焼、同八時三十分頃鎮
火、原因は母モト(三)さん
の燧火の不始末から

常磐炭の運搬夫

家出て行方不明

内郷町高坂御殿常磐炭運搬
夫(正)正(三)さんは三
搬夫(正)正(三)さんは三

公園にボンボリの設備

桜と誰かと會はば必ず

桜、櫻と誰かと會はば必ず
櫻、櫻と誰かと會はば必ず
櫻、櫻と誰かと會はば必ず

短靴を盗まる

大浦村大字仁井田字種向二

大浦村大字仁井田字種向二
盗まれた

好間の古物商に強盗

七万六千圓相當を強奪

五日午前二時三十分頃好間
村北好間町三十七番館
業兼古物商倉元龍三と山田
武一(三)さん方及渡り約
一尺五寸の日本刀と三尺位
の棒を持った二人組の賊が
扉をのりこえ、庭つたに
裏の風呂場をまわり板戸
をこじあけ屋敷内へ侵入、臺
所から勝手口へ入りこみ丁
度物音をきいて變に思い出
て来た武一さん日本刀を
つきつけ武一さん並に同居
中の内妻泉キミ(三)さんの
兩名を脅迫し現金六千圓及
クローム十六型スイスイ製腕

記念 謝恩賣場

一週年謝恩大賣出し
特設四月五日より九日迄

謝恩賣場

壽 二階ホール

奉仕品ノ一例

純毛フラノ服地	6.500圓ノ品	4.300圓
春メリヤス	450圓ノ品	380圓
粉男ミズン	120圓ノ品	100圓
婦人雨靴	1.800圓ノ品	1.300圓
婦人廣三組	750圓ノ品	630圓
ランドセル	4.500圓ノ品	3.500圓
	630圓ノ品	500圓

その他奉仕品澤山ございます

平驛前 壽百貨店

丸市屋

皆様の魚店
電話 平市 四丁目
電話 二一三番

正白土正藏商店

平市古鍛冶町
電話 六九三番

飯田カメラ店

現象、密着、引伸は
最高技術と親切な……
平市古鍛冶町

